



令和4年 第9号（通算337号）
一佐西学校だよりー
令和4年12月23日発行
〔発行責任者〕
長崎県立佐世保西高等学校長 城 美博

励ましてくれる言葉

校長 城 美博

「光陰矢のごとし」という言葉が身に沁みます。令和4年も終わりが近づき、今年度も残すところ、3ヶ月余りとなりました。

さて、3年生の皆さんには、大学入学共通テストが目の前に迫って来ました。ここまで来ると、この辛い試練に真っ向から立ち向かうしか方法はありません。困難は逃げるよりも果敢に突破しようとする方が時としてうまくいくことがあると、私は経験上そう思います。しかし、そんな私にも、私なりに辛い時期はありました。その悩みは、高校時代より大学に進んでからの方が、より深く本質的なものだったように思います。そんな時、私を励ましてくれた一冊の本に出会いました。大学生の頃に読んだ、松本清張（1909～1992）の「私のものの見方考え方」という本でした。その中で、私はこんな言葉に出会いました。

上級学校を出た途端に勉強をストップする者と、小中学校を出てから一生勉強して通すものと、どちらに最終の勝敗があるだろう。再度云うならば、人生には卒業学校名の記入欄はないのである。（学歴の克服 「私のものの見方考え方」より・下線部筆者）

松本清張という人は、その若い日を、貧しさとそこから生じる劣等感に苛まれ、そしてそれを跳ね返すべく刻苦勉励した人でした。デビュー作「西郷札」で注目された後、「或る『小倉日記』伝」で芥川賞を受賞、その後も社会派の作品を次々に生み出すベストセラー作家となり、その該博な知識と広い領域にわたる創作活動で膨大な量の著作を残した知の巨人です。その松本清張が、若い日を振り返って記したのが上記の言葉なのです。

私はこの言葉に触れてハッとしました。これを読んだ当時の私は、大学生として傍目には恵まれた環境にあり、しかし、勉学に励んでいるかというとは決してそうではなく、要するにその日その日を無為に過ごしている怠惰な学生であったと思います。「人生には卒業学校名の記入欄はない」という言葉からは、その人の実力がものをいうのだ、という意味が伝わってきますが、その前の「上級学校を出た途端に勉強をストップする者」「小中学校を出てから一生勉強して通すもの」という比較から、学歴はどうあれ、学び続ける者が最終的に人生の勝者となる、という強いメッセージが伝わってきました。

佐世保西高の生徒の皆さんは、どのような大学に進もうとも、そしてどんな職に就こうとも、学び続ける人であってほしい。座学だけではなく、毎日の経験がそのまま学びとなるということに気付いてほしい。怠惰な大学生であった私が、「このままではいけない、学び続けなければならない」と鼓舞され励まされた言葉が、松本清張の上記の言葉であったのです。

ちなみに、松本清張は高等小学校卒業でした。

人生の達人セミナー

11月24日に本校37回生で、川口家染工場営業部長の川口直人氏に「私が卒業して感じたこと～世界は学校の外にある」という演題で、1・2年生を対象に講演していただきました。川口氏は、創業120年の染工場の五代目としてご活躍中ですが、佐世保商工会議所青年部会長として、地元の活性化事業にも尽力されています。以下に、生徒の感想文の抜粋を掲載します。

「お話を聞いて、参考にしたいことがいっぱいあった。自分も今、中学校の頃に比べてテストの点数が伸びないという状態にあり、悩んでいるところだった。しかし、お話を聞いて、まだまだ変われるし、終わりじゃないなと前向きに考えていこうと思うことができた。また、今回のお話で佐世保商工会議所についても知ることができた。『自分は人生の達人じゃない』とおっしゃっていたが、川口さんの人生のお話を聞いて、十分素晴らしい方であり、達人だなと思った。（1年女子）」

「印象に残ったことは『有形資産より無形資産の方が大事だ』』という言葉です。有形資産を作るには無形資産を蓄えることが必要だということや、無形資産を作るにはコツコツと努力をして経験値を貯めていくことが大事だと学びました。将来、自分が働くようになった時のためにもたくさんの経験値を貯めていきたいと思いました。そのために、日々勉学や部活を精一杯頑張張り、行事にも一生懸命取り組んでいきたいと思いました。課外学習や大学のオープンキャンパスにも積極的に参加していきたいと思います。（2年女子）」

校内読書週間・県高校総合文化祭【図書部門】ライブラリーフェスティバル県大会

第76回全国読書週間の一環として、11月2日～9日校内読書週間を実施しました。期間中の昼休みに雑誌付録抽選会・古雑誌頒布会を行い、標語コンクール入賞作を掲示しました。優秀標語は以下の通りです。

- ・最優秀賞 「見つけたい 本との出会い と ホントの出会い」 関戸 一路（3-4）
- ・優秀賞 「積み重なる 一生消えない 知の財産」 西澤 礼華（3-2）
- ・優良賞 「一日の スタートダッシュ 読書から」 萩原 彩心（3-2）

令和4年度ライブラリーフェスティバル県大会は11月16日に諫早文化会館で開催されました。本校1年生2名（増田静香さん、濱村真実さん）が生徒実行委員として夏から準備を重ね、本番はオープニングでの芝居や進行アナウンスなど、各所で活躍してくれました。生徒交流会では一般参加生徒のサポートも行いました。POPコンクールでは図書委員の1年加藤鈴菜さんの作品が優秀賞を頂きました。



高校生さわやか運動

11月14日（月）から17日（木）の4日間を「高校生さわやか運動」強調週間とし、生活委員と生徒会執行部を中心に、朝の挨拶運動と校舎周辺の清掃活動を行いました。生徒玄関前に並び、通勤・通学してくる先生方、生徒に向かって「おはようございます！」と元気に声をかけました。活気のある爽やかな朝になったと思います。また11月から12月にかけては校舎周りの木から大量の葉が落ちるため、葉の掃き掃除も行いました。掃除をして体が温まり、校舎周りもきれいになって、とても爽やかな気持ちになりましたよ。

掃き掃除はまだしばらく行いますので、時間に余裕がある人はぜひ一緒に行いましょう。

この「高校生さわやか運動」の期間に限らず、日頃から元気な挨拶を心掛け、お互いが気持ちよく

生活できる雰囲気づくりができるといいですね。



母の会支援活動

いよいよ大学入学共通テスト２カ月前を迎えた１１月１５日（火）に、３学年母の会の皆様による激励の差し入れが行われました。時間をかけて準備をしていただき、当日の昼休みに、受験に「勝つ」という思いが詰まったカツサンドとメロンパン、そして学業成就を祈願した太宰府天満宮の鉛筆セットが激励の言葉とともに、生徒全員に配られました。差し入れの一つ一つには、母の会の皆さんの心のこもった手書きのメッセージが添えられており、５７回生の生徒たちも保護者の愛情を感じながら、受験へのラストスパートに向けて気持ちを直したようでした。

残された時間を大切に最後まであきらめずに頑張っていきましょう。（３学年主任 萩原 広太）



県総文祭

１１月１１日（金）アルカスＳＡＳＥＢＯ大ホールにて、第１８回長崎県高等学校総合文化祭（しおかぜ祭）総合開会式が行われました。「風のパレード」の大会テーマのもと、３年ぶりに有観客での開催となりました。当日は１年生が参加し、式典行事や、弁論専門部、郷土芸能専門部（和太鼓）、マーチングバンド・バトントワリング専門部の発表を観覧しました。郷土芸能専門部（和太鼓）のステージでは西高太鼓部の演技も披露され、観客を魅了しました。

また、生徒会執行部の３名（國本明暉くん、内村和奏さん、針尾紅瑠実さん）が実行委員会に参加しました。４月から会議を重ね、紹介動画の作成や、式典の企画・運営の中心となって活躍しました。本番当日は大会副実行委員長の國本くんによる開会宣言を皮切りに、「文化の風」を十分に感じられた時間になりました。（生徒会）



主な試合等の結果

<ハンドボール部>

○令和４年度長崎県高等学校新人体育大会ハンドボール競技
男子 第３位 女子 第３位

<女子バスケットボール部>

○令和４年度長崎県高等学校新人体育大会バスケットボール競技 第３位

<弓道部> ○令和４年度佐世保市民体育祭

女子団体 準優勝 佐世保西高校 a 第３位 佐世保西高校 b
男子団体 第３位 佐世保西高校 A
男子個人 準優勝 ２年 浦 郁真

<放送部> ○令和４年度長崎県高等学校総合文化祭第４４回九州高校放送コンテスト長崎県大会

アナウンス部門 優良賞 １年 吉木和桜

テレビ番組部門 優良賞 「映す」

<コーラス部> ○令和４年度長崎県高等学校音楽コンクール

声楽部門 銅賞 １年 川崎和奏

<西高太鼓部> ○令和４年度長崎県高等学校総合文化祭郷土芸能部門 銀賞

<その他>

○令和４年度長崎県高等学校総合文化祭【図書部門】第１９回ライブラリーフェスティバル

ＰＯＰコンクール 優秀賞 １年 加藤鈴菜

○スポーツエアロビック２０２２福岡オープン

ティーンズ女子部門 準優勝 １年 佐竹美律



保健講話（デートDV防止予防教室・性教育）

１１月１０日、２年生を対象にデートDV予防教室が行われました。ＮＰＯ法人「DV防止ながさき」より大川内紀美子様をお招きし「対等な関係をつくるために」というテーマでお話し頂きました。デートDVとは何か、アイメッセージ・ユーメッセージの違い、DVが身近に起こりうるという現実等が紹介されました。また保健委員によるロールプレイングでは会場の緊張感も和み、身近な実践を学ぶよい機会となりました。

２２日には１年生を対象に「いのちについて考える」LHRを行いました。例年は、佐世保市保健所の保健師の方に講師を依頼するのですが、昨年に引き続き、今年も本校保健主事の山口麻利子が務めました。相田みつを氏の「いのちのバトンの詩」や映像などを紹介し、いろいろな角度からいのちについて考える１時間になったことと思います。（保健相談部）



《１２・１月の行事予定》

12月26日	(月)	冬季講座（全学年）	～27日(火)
28日	(水)	共通プレテスト（３年）	～29日(木)
1月3日	(火)	共通テストプレ（３年）	～4日(水)
5日	(木)	冬季講座（３年）	～6日(金)
10日	(火)	授業再開日 / 冬季実力テスト(１・２年)	２年生は ～11日(水)
14日	(土)	大学入学共通テスト（３年） / 対外記述（１・２年）	～15日(日)
22日	(日)	第３回英検１次 / 三者面談（３年）	～24日(火)
23日	(月)	三者面談（２年）	～27日(金)
28日	(土)	小論模試（３年）	